



2024年5月10日

各 位

会社名 伊勢湾海運株式会社
代表者名 代表取締役社長 高見昌伸
(コード番号 9359 名証メイン)
問合せ先 常務執行役員 下条義裕
(TEL 052-661-5181)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は2024年度(2025年3月期)から2026年度(2027年3月期)までの3年間を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の位置づけ

当社が2030年までに目指したい姿(ビジョン)を「和を重んじた つなぐ物流で、地域・港湾の発展に寄与する」と決めました。当中期経営計画は、その2030年ビジョンの実現に向けて、2024年度から2026年度までの3カ年、「Challenge～つなぐ物流で未来へ」をスローガンとして掲げ、社会とともに持続的な成長と企業価値向上への挑戦を計画化したものです。

2. 重点施策

■物流イノベーション

既存事業の改革と新たな挑戦により、物流事業のレベルアップを図り、イノベーションを実現します。物流イノベーションの重点施策を以下とします。

(1) DX、ロボティクス

積極的なDX化の推進、ロボティクスを取り入れ、事業の発展を目指してまいります。

(2) サステナビリティ

企業と社会が持続的に成長発展していくサステナビリティ経営に即した事業活動・職場づくりを推進します。特に人的資本経営を重点戦略の一つと位置付け、注力してまいります。

(3) グローバル

当社の事業及び従業員が、さらにグローバルな進化・発展を遂げ、国内外をつなぐ顧客サービスを拡充する取り組みを実施してまいります。

3. 経営目標(連結)

	2027年3月期
売 上 (百万円)	58,000
営業利益 (百万円)	3,300

以 上



中期経営計画(2024～2026)

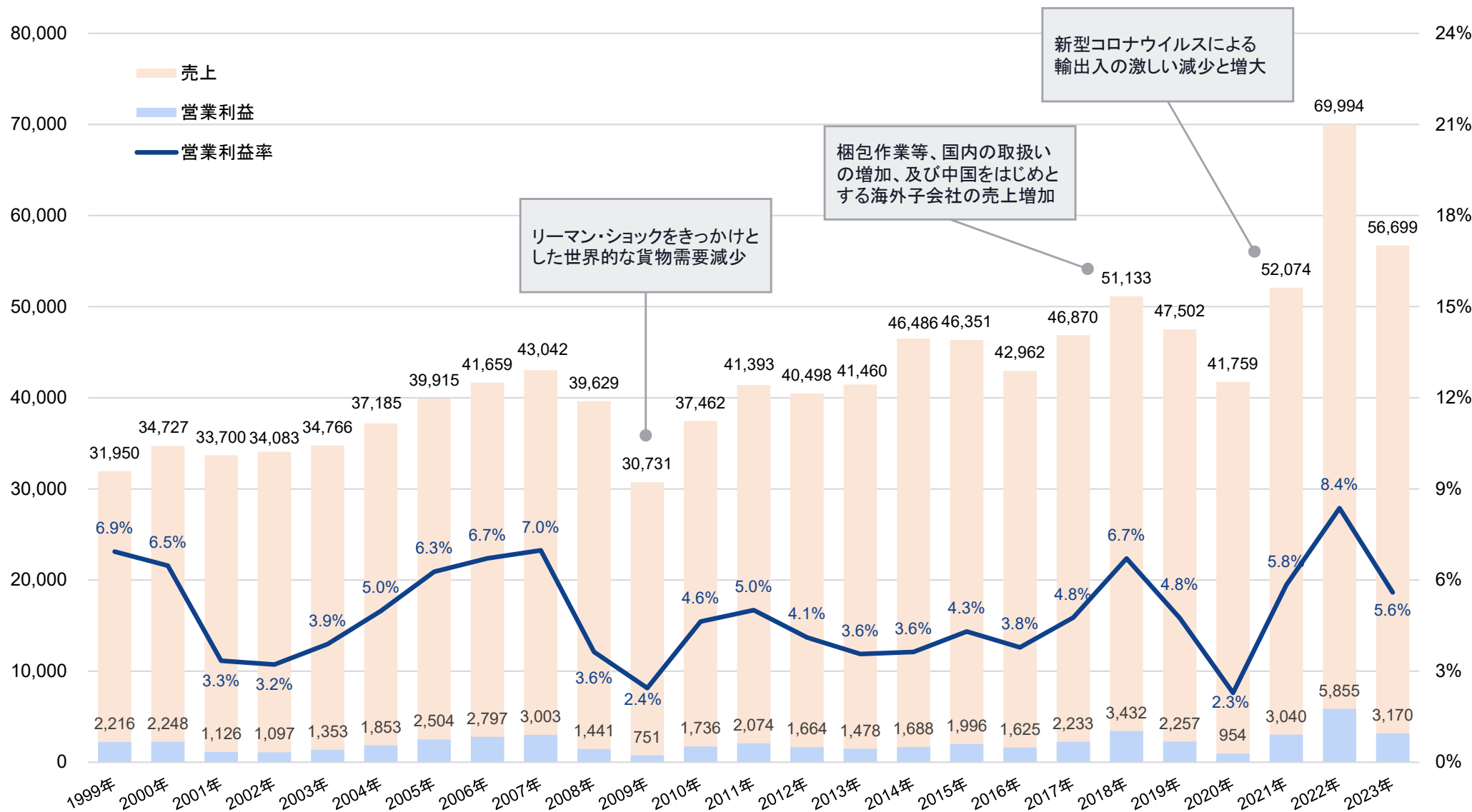
Challenge ～ つなぐ物流で未来へ

2024年5月10日

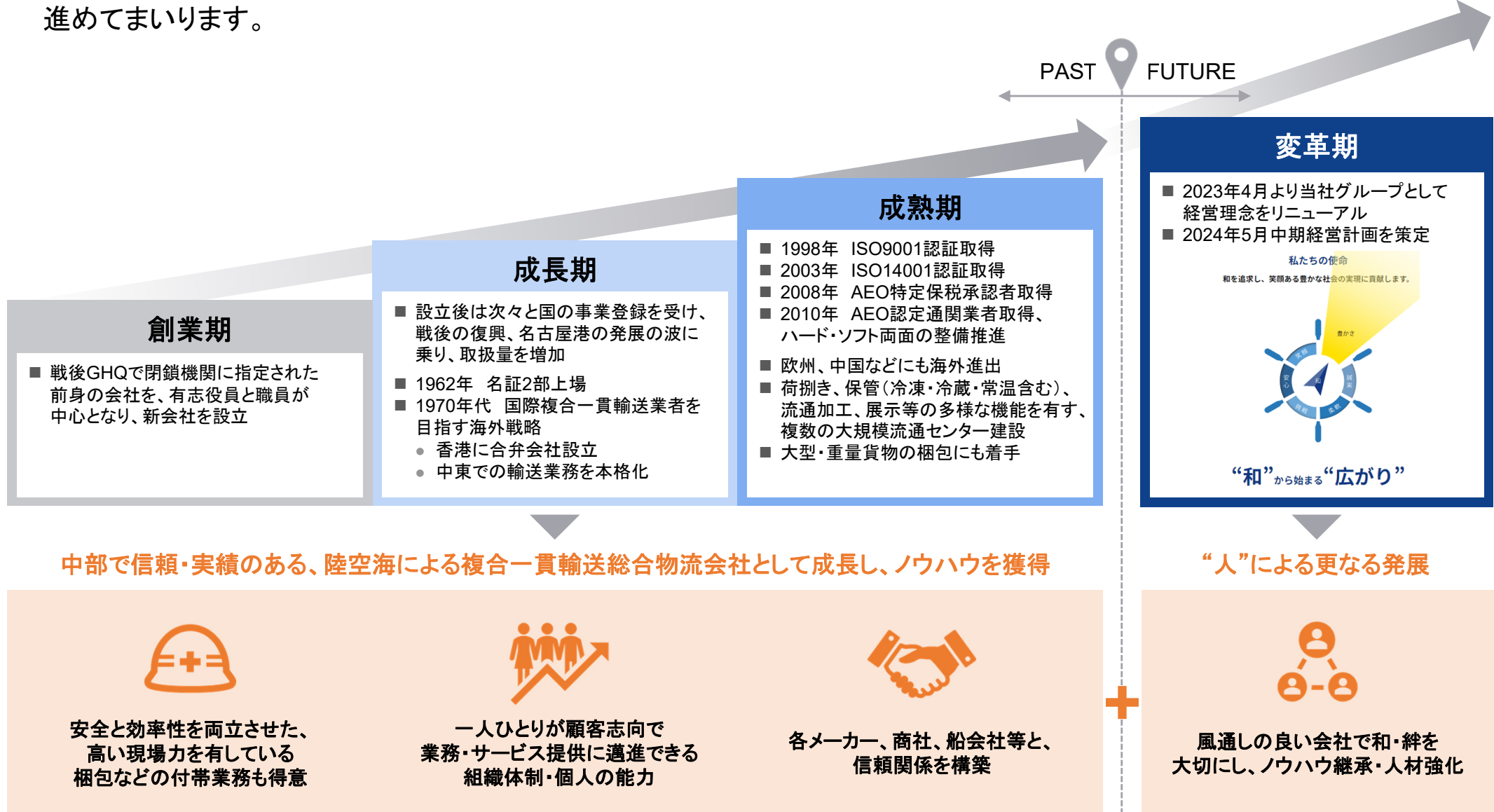
中期経営計画（2024～2026）	
近年の歩み ～ 売上高・営業利益率の推移	1
当社がこれまで大切にしてきたもの	2
伊勢湾海運グループ経営理念	3
当社を取り巻く市場環境の変化	4
2030年ビジョン ～ 2030年までに当社が目指したい姿	5
中期経営計画（2024～2026） ～ 全体像	6
「Challenge ～ つなぐ物流で未来へ」	7
物流イノベーション施策・1 ～ DX、ロボティクス	8
物流イノベーション施策・2-1 ～ サステナビリティ(ESG、SDGs)	9
物流イノベーション施策・2-2 ～ 人的資本経営	10
物流イノベーション施策・3 ～ グローバル	11
財務・資本戦略の方向性	12
(APPENDIX)	13

近年の歩み ~ 売上高・営業利益率の推移

- 2022年度は過去最高の売上、利益を達成。2023年度もそれに準ずる売上、利益水準で着地することができました。近年の業績は、売上、利益ともに堅調に推移していることから、中長期的に見てもこの傾向は続くものと考えます。



■ 当社は会社設立時より、社員が安全と効率性の両立を図り、常に質の高いサービスの提供を意識して業務に取り組むという現場力にこだわり、幾多の困難を乗り越え、顧客・取引先の信頼を獲得、成長を遂げることができたと自負しています。しかしながら、ここからさらに次なるステージへ躍進するためには、改めて現場力の強化を図り、事業の見直し・再構築を進めてまいります。



- いかにも不透明な状況下であっても、当社の目指すべき方向性を社内外に明示するために、2023年4月、MISSION-VISION-VALUEから成り立つ経営理念を策定しました。全従業員が一丸となって未来へ突き進んでまいります。

経営理念

MISSION ミッション 私たちの使命

和を追求し、笑顔ある豊かな社会の実現に貢献します。



和から始まる広がり

心が和むと笑顔を生む。
心の和みで安心を生む。
その安心できる環境が挑戦を生む。
調和が柔軟さを生む。
お互いを大切にし、協力し合う関係の和が誠実さを生む。
和によって生まれる、“笑顔”、“安心”、“挑戦”、“柔軟”、“誠実”が
人の心や社会発展の豊かさに繋がっていくと確信します。

VISION ビジョン 私たちの目指す姿

多様な個性や価値観を尊重し、みんなが力を存分に発揮できる明るく活力のある企業風土を確立します。そこから生まれる誇りあるサービスを提供し、すべての人に安心と信頼を届け、社会とともに希望ある未来を目指します。

VALUE バリュー 私たちの大切にしている価値観

- **笑顔溢れる活気のある企業へ**
笑顔は楽しい時・うれしい時・感謝をしている時に溢れます。笑顔は周りに広がります。そんな幸せに溢れた明るい企業にしましょう。
- **安心でき、やりがいを感じることができる企業へ**
素直に意見が言える、そのためには素直に意見を聞ける環境、そのような安心できる風通しの良い職場にしましょう。役割、存在価値を認め合い、ともに成長できる企業にしましょう。
- **本質を見極めた挑戦**
仕事をこなすことだけに没頭せず、取り組んでいる仕事の本質を真剣に考え、心の底から理解したうえで挑戦しましょう。
- **挑戦を応援できる環境**
真剣に取り組んだ挑戦には、失敗しても許しましょう。人に仕事を任せ、勇気を大切に、責任持ってその仕事を見届けましょう。
- **互いの意見を尊重し、受け入れる柔軟な職場へ**
1人で行う仕事には限界があります。2人、3人、それ以上の人が関わり、多様な価値観の融合から創られる付加価値の高いサービスを提供しましょう。
- **社会の移り変わりへの柔軟な対応**
社会の移り変わりに流されるのではなく、その流れをつかみ、当社にとっての最良の手立てを真剣に考え、変化することも恐れずに柔軟に対応しましょう。
- **誠実な対応**
すべての人（お客様、パートナー（協力会社）、従業員同士）に誠実に向き合い、信頼の絆を大切にしましょう。
- **誠実で誇りある仕事**
家族・友人に誇れる仕事をしましょう。そのためには、自分にウソをつかず、正直に仕事に向き合ひましょう。

メガトレンド

国内外の社会経済情勢

「国外」の社会経済情勢

- 東南アジアをはじめとする新興市場の拡大、チャイナプラスワン
- 第4次産業革命の進展
- 資源獲得競争激化

「国内」の社会経済情勢

- 人口減少と労働力不足
- 巨大災害の切迫
- 社会インフラの老朽化

求められている社会性

事業を通じたSDGs達成への挑戦

- サーキュラーエコノミー活動
- アップサイクル活動

持続的な事業活動を支えるESG経営

- ダイバーシティ経営、人的資本経営
- 働き方改革の推進
- 女性活躍の機会提供

テクノロジーの革新

AI・ITの発達

- DXを活用した事業運用
- データ分析の高度化

多様な現場で活用されるロボティクス

- 効率化、省人化目的の自動化
- 人の安全を守る自動化
- 人の手でしかできなかった作業の自動化

当社事業周辺への影響

海外戦略



インフラ



「注力する海外拠点」、「BCP対策を考慮した国内施設」への戦略投資

- 持続的な港湾整備、取扱機能の強化
- 国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持
- 海岸保全施設の防災機能強化、港湾施設の老朽化対策
- 国際産業戦略港湾としての名古屋港

環境事業



働き方



ESGの観点を取り入れた「事業運営」、「組織・人事戦略」

- GHG排出ゼロに向けた輸送へ
- カーボンニュートラルポートの形成、低・脱炭素型荷役機器導入の推進
- 女性や高齢者が働きやすく、活躍できる港湾事業へ転換

DX推進



自動化戦略



「人」が行う作業の洗練化・「人以外」が行う作業で、新たな付加価値を創出

- AI・IoT活用で、港湾の維持管理・運営サイクルのスマート化
- コンテナターミナルにおけるサイバーセキュリティ対策の強化
- スマート物流
- トラックの自動隊列走行

取引先・関係先にとって

- 国内外の社会情勢の変化にも迅速に対応、常に顧客の利便性、満足度向上を最優先した行動で信頼できるパートナーとなります
- 国内及び海外の物流業界で蓄積した知識と経験を活かし、多岐にわたる物流ニーズの総合支援を実現します

株主にとって

- 新型コロナで刷新された世界で生き抜くため、安定と成長の両立を図る事業の維持・躍進を目指す計画を策定、推進いたします
- 中長期先を見据えた視点で、地に足の着いたESG経営を追求、サステナブル企業に相応しい企業価値向上を目指してまいります

2030年ビジョン

「和を重んじたつなぐ物流で、
地域・港湾の発展に寄与する」

従業員にとって

- 従業員一人ひとりのWell-Beingを重視し、実現できるキャリアプランを示し、個人と会社が共に成長する機会と環境を提供します
- より高い付加価値の機能を追い求め、業務スキル・ノウハウをさらに磨くべく、人材育成に注力し、やりがいをもって働ける職場環境をつくります

地域・社会にとって

- 地域・社会への協力、協賛等を通じて、地域・社会に頼られる企業となります
- これまで共に歩んできた地元の方々の安全・安心を支える社会インフラ企業の一員として、地域の活性化を促し、人びとが誇れる名古屋港づくりに貢献いたします

スローガン

「Challenge ~ つなぐ物流で未来へ」



2030年ビジョン

「和を重んじた つなぐ物流 で、地域・港湾の発展に寄与する」

物流イノベーション

- 国内物流施設の再編で持続的成長が可能な安定経営を実現
- 顧客ニーズに合致した倉庫・設備の選定、高度化
 - 「人と設備の協働」・「IT活用」・「多様性の推進」により、互いに助け合う現場
- 荷役を越えた流通加工への挑戦で、新たな付加価値を提供(組立・設置業務)



1

DX・ロボティクス



- 業界をリードする、DXへの積極対応企業へ
- 社内のIT化の推進と情報リテラシーの強化
- 効率化、安全強化、難作業を実現するための現場設備・機器の導入

2

サステナビリティ

Environment(環境)

- カーボンニュートラル、CO₂排出量削減
- サーキュラーエコノミー・環境負荷削減に関わる事業に取り組む

Social(社会)

- 人材の確保・活用、CDP・計画的な育成
- 働きやすい環境づくり、Well-Beingの向上
- 人事制度・評価システムの見直し

Governance(企業統治)

- ガバナンス体制の強化
- リスク管理体制の整備
- 情報セキュリティ対策の推進

3

グローバル



国内外をつなぐ顧客サービスの拡充

- 顧客の海外展開に即した営業組織体制の拡充、各拠点間の連携強化
- 的確な提案力を備えた人材の計画的な育成と適正な配置
- 多様な人材が働ける環境、活躍できる仕組みの整備

物流イノベーション

既存事業の改革と新たな挑戦により、物流事業のレベルアップを図り、イノベーションを実現します



新・ビジネスモデル創出
荷主の生産工程の一部を物流工程でカバーするユーティリティ物流を積極的に提案

社会インフラに貢献する物流
新エネルギー分野 取扱

各拠点間の連携強化
(ハード面・ソフト面)
海外顧客への利便性強化

新倉庫建設計画を推進

顧客ニーズに合わせた倉庫や設備へ刷新

環境保全にも考慮した事業活動を実施

車輛、台車保管場所拡張のため、土地を新規取得(グループ会社)

本社・現場が一体となって人的資本経営に取組み、現場の人材に「変化」を与える施策を実践

維持更新・設備投資

50 億円

人的投資

8 億円

DX関係投資

10 億円

2024~2026年度の
目標投資額

1

DX・ロボティクス

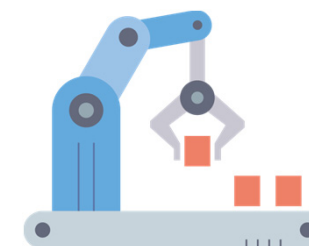
- 当社の強みである現場作業における匠の技をさらに磨き、これからも強みであり続けるために、労働集約的な業務プロセスにおいては、積極的にDX化を推進、ロボティクスを取り入れ、事業の発展を目指してまいります

効率化のためのロボ導入ではなく、人に投資し、現場を更に進化させる人材・組織への成長を目指す



目指す姿

省力化・効率化を目指した荷役機器、解袋設備



やりたいこと

Will

DXによる
現場の変革
(人・設備・情報の融合)

やるべきこと

Must

IT・社内
インフラ強化

- 社内情報連携強化
 - 社内IT化
 - 社内リテラシー向上
- 省力化、効率化



できること(現在)

Can

業界屈指の
現場力・段取り力

- 梱包などの付帯業務も実施しており、幅広いニーズに対応
- 安全 & 迅速な現場作業で、質の高いサービスを提供



2 **サステナビリティ**

- 企業と社会が持続的に成長・発展していくサステナビリティ経営に即した事業活動・職場づくりを推進します
- 中でも人的資本経営に関する事項を当中計の重点戦略の一つと位置づけ、注力してまいります

環境
Environment

社会
Social

ガバナンス
Governance

リサイクル・省エネによる環境保全

「安心×成長」し合う社会の創出

内部統制等の体制・仕組みの強化

- 産業廃棄物 中間処理施設にて汚泥の中間処理、燃料・原料として再資源化
- 環境対応車の導入推進
- LED照明への切り替え
- 太陽光パネル活用によるCO₂削減推進
- CO₂排出量削減を目標とするプログラムへの参加(航空会社主体)
- 環境に配慮した製品の購買推奨

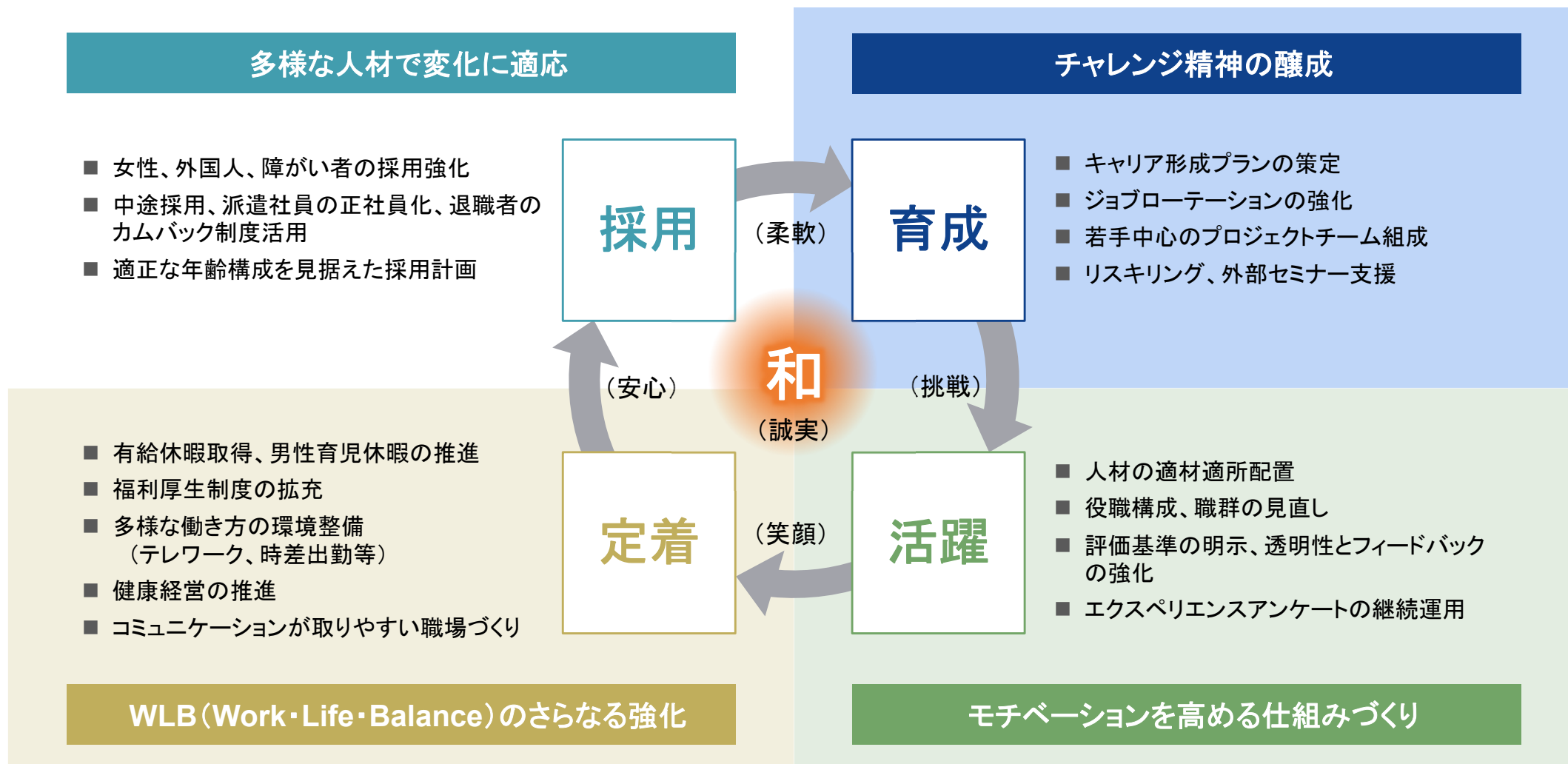
- 重点戦略**
- 人的資本経営の実現
 - 多様な人材の能力を活用した事業運営
 - 事業発展に貢献する人材の採用・育成
 - モチベーションを高める評価、人事制度
 - 誰もが働きやすい職場環境づくり
 - 災害が起こった際の復興支援
 - ウィンターイルミネーションの実施、名古屋港水族館への協力など地域・社会貢献活動の継続実施

- 中長期的な企業価値向上を目指したガバナンス体制の強化
- リスク管理体制の整備
 - 情報管理面でのBCP
 - 情報セキュリティ対策の推進
- コンプライアンスの強化、徹底
- 株主をはじめ各ステークホルダーとの適切な対応、協働に努める



- 人的資本経営に注力するのは、当社の強みの源泉は「ヒト」にあると考えるからです。経営理念の「和によって生まれる笑顔、安心、挑戦、柔軟、誠実」を戦略の核に据え、従業員一人ひとりの能力・ポテンシャルを最大限に引き出し、活力に満ちた事業運営を目指し、以下の施策に取り組んでまいります。

伊勢湾海運が目指す、誰もが「安心×成長」する人的資本経営のサイクル



3

グローバル

- 当社の事業及び従業員が、さらにグローバルな進化・発展を遂げることで、世界中の多種多様な業界の顧客に最適な輸送サービスをお届けするべく、以下の取組みを実施してまいります

営業力拡大



- 3PL物流強化、自社倉庫施設の活用
- 最適な輸送提案ができる人員の配置
- 女性駐在員の積極登用

DX推進（アジア、中南米）



- QRコードを利用した倉庫管理システムの導入
- ハンドスキャナーを利用した入出庫、蔵置管理
- 作業の効率化、省人化、省力化の推進

サービス向上



- 現行拠点の再構築
- 拠点網拡充の検討
- 物流施設の効率的な活用

アメリカ、ヨーロッパ、中南米、アジア各地に拠点を配置し、グローバルに広がるネットワーク体制を展開
顧客のさまざまなニーズに合わせた最適な輸送サービスを世界中に提供

	2024年3月期（実績）	2027年3月期（目標）
売上（百万円）	56,699	58,000
営業利益（百万円）	3,170	3,300

■ 現状、当社のPBRは0.45倍程度、ROEは2024年3月末実績にて6.0%

4つ方向性

成長戦略

- 主力事業強化
- 既存事業の価値の拡大
- 経営基盤の継続的な強化

IR・SR戦略

- 株主アンケートの実施(2023年初回実施)
- IRミーティングを継続
- IRエキスポへの参加、対面イベントの強化(2024年から)
- ホームページの刷新

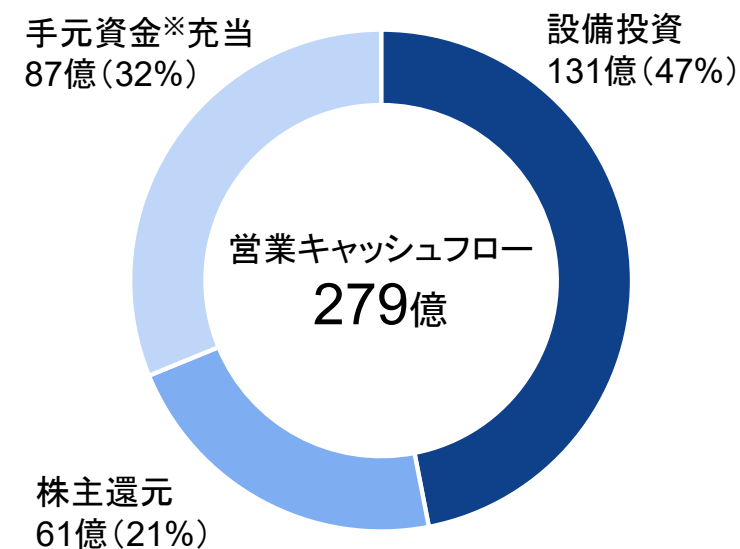
企業価値向上に向けて

- 株主の皆様との一層の価値共有を進めるとともに、中長期の企業価値に向けたインセンティブの強化
- 役員報酬制度に譲渡制限付株式報酬制度を導入

株主還元の方針

- 普通配当は減配せず、配当水準を維持、継続した株主への安定還元
- 利益成長に即した増配の検討

過去10年間の設備投資・株主還元

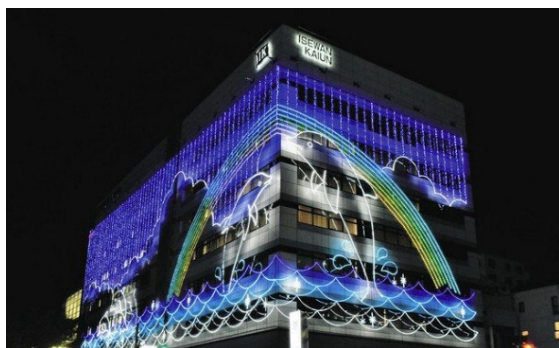


※手元資金は、財務の健全性の維持に努めるとともに、中期・長期で新たな価値創造の為に必要な投資として使用

- 地域・社会の皆さまに対して、常日頃からの感謝を込めて、加えて当社及び当社事業へのご理解を深めていただくために、以下のような取り組みを実施しています

街を彩るウィンターイルミネーション

名古屋市営地下鉄名古屋港駅の2番出口すぐ(本社ビル)
省エネルギーで環境に優しいLEDを使用し、街に彩りと元気を提供しています



空心菜の水耕栽培

安心・安全・美味を多くの食卓へお届けするとともに、地域社会に根づいた雇用の場となっています (アクアファーム イセワン)



みなとSDGsパートナー登録・活動

2023年3月29日付けで国土交通省の「みなとSDGs パートナー登録制度」に登録
日本の港湾の持続可能な発展を目指してこれからも活動してまいります



地域密着・企業知名度向上

バンテリンドーム ナゴヤへの看板広告を2000年より開始
地元根ざす企業を目指して活気ある地域づくりに貢献しています



**伊勢湾海運株式会社(証券コード : 9359)
中期経営計画 (2024~2026)**

本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したのですが、今後の市場環境の見通しや実際の業績は、経済情勢など様々な不確定要因により、記載した内容と異なる場合があります。従って、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えください。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先
当社ウェブサイト「お問い合わせフォーム」
<https://www.isewan.co.jp/otoiawase/>